

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



よいことのために手を取りあおう

UNITE
FOR
GOOD

第1728回例会 令和8年5月21日(木)

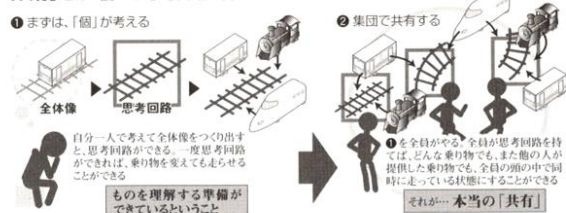
【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。失敗学の中から自分の考えを追加して話をしたいと思います。タイトルは「共有」とは。個々が思考回路をもつこと。図の中で「共有」とは「誰かが考えて、全員に知らせて守らせる」と違う。最近では情報を共有しますという事がありますが、意味合いが違うという事を承知しながら聞いていただけるといいと思います。



「共有」とは、個々が思考回路を持つこと！



失敗をなくす手法として、個で考えて、組織で共有する。それぞれが考えるという事が重要だというのが失敗学の話です。

「暗黙知」が先輩から後輩へと伝承されるときのように、一人一人が「自分の頭で考える」ことは、組織の活性化にもつながります。ある人が何かをつくり出したり問題を解決したりしようとして、自分の頭でものを考えると、その人の頭の中には、ある思考回路が残ります。いったん頭の中にその回路ができると、同じことに関するほかの人の考えを聞いたときも、何も考えていなかったときと比べて何倍も早く処理することができます。これは、最新の脳科学の研究からも言えることです。

これを発展させると、次のようなことが言えます。例えば 200 人であることを共有しようと思ったとき、まず、個人がそれぞれの頭の中で考え、その次に、その 200 人が集まってまた考えれば、その集団は、200 倍の高速処理ができる集まりになったと言えます。当然、短い時間で一気にものごとを考えて、共有化することができます。これは従来のような、「だれかが決めたことをまじめに守る」とか「たくさん覚えていて上手に使う」という発想法とはまったく違います。

リーダーが集まって組織の構造や制度を変えていくことが大事なのではありません。リーダーだからと言って、その人が「真のベテラン」であるとは限らないのです。それぞれの個人が自立して考え、組織全体でその考えを共有していく——それが、失敗をなくす最も確かな道と言えるでしょう。

(別の記事による補足)

3人寄れば文殊の知恵は本当か？

みんなで良いアイデアを出すための条件
ブレインストーミングではよいアイデアは出てこない！？

ブレインストーミングには、「批判厳禁」「自由奔放」「質より量」「アイデアの結合」という4つのルールがあります。要は「とにかく数多くのアイデアを出すために、他人を批判せず、大胆な提案をし、さらにアイデア同士をつなげていこう」というわけです。自由で民主的なミーティング手法として確かに普遍的な魅力があり、今でもとても支持されています。しかしながら、研究者たちの実証研究によると、ブレインストーミングのパフォーマンスは必ずしもよくありません。みんなが一堂に会してブレインストーミングするよりも、各メンバーが独立して考え、それを集めてグループの成果とするほうが、アイデアの総数が多く、また独創的なアイデアの数も多かったのです。

戻って共有の意味の差を知ったうえで、失敗学から言えること政治体制について、200人がそれぞれ考えて、集まってさらに考える方式が民主国家。誰かが決めたことを真面目に守る方式が独裁国家。失敗学は、「独裁国家より民主国家の方が失敗が少ない」と主張している。ロシアでも形の上ではリーダーを選挙で選ぶが、国民が個々人の考えに従った投票ができなくなっている。形だけ民主制度を導入したが、国民が自由に考えて意見を言える、という民主制度の本質が欠けている。国家が誤った方向へ進んでしまった。

【幹事報告】

山田 利明

1. 地区事務所より

①ロータリー公共イメージ向上の取り組みアクリルスタンド設置のお願い

②月信5月号

次年度について

会長エレクト

山田 利明会員



次年度の委員会構成を作ってみました。人数も少ないので、兼務も多いと思いますが、ご協力をお願いいたします。

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
8	0	4	0	50.0%

2026～2027年度理事及び役員構成

理事及び役員

令和8年7月1日

役員	氏名	担当	役員	氏名	担当
会長	山田利明	戦略計画	理事	小埜和也	R財団委員会、米山
副会長	小埜和也	幹事、会長エレクト	理事	板谷定美	奉仕プロジェクト、SAA
理事	畝 徳治	クラブ管理運営委員会	理事	小林 悟	青少年、アクト、ライラ
理事	高田富康	会員増強、研修委員会			

直前会長	畝 徳治	会計	小埜和也
名誉会員	山口仁平	会計監査	畝 徳治

委員会構成

委員会	委員長	小委員会	委員
I. クラブ管理運営	畝 徳治	1) プログラム、出席	畝 徳治
		2) 会員増強	高田富康
		3) 公共イメージ、IT	畝 徳治
II. 奉仕プロジェクト	板谷定美	1) 職業奉仕	板谷定美
		2) 社会奉仕	〃
		3) 国際奉仕	小埜和也
		4) 子ども家庭奉仕	〃
III. 青少年プロジェクト	小林 悟	1) アクト・ライラ委員会	小林 悟
		2) 青少年交換委員会	
VI. ロータリー財団	小埜和也	ロータリー財団	南須原宏城
V. ロータリー米山奨学	小埜和也	ロータリー米山奨学	南須原宏城
VI. 研修	高田富康	研修委員会	高田富康
VII. 戦略計画	山田利明	戦略計画	畝 徳治

地区委員

委員

地区幹事	高田富康	副幹事	
国際大会推進委員会	小埜和也	副委員長	